

会 議 記 録

記録者：鈴木達也

会議名称	地域づくり懇談会（川西地区）
開催日時	令和5年5月26日（金）19：00～21：00
開催場所	川西コミュニティセンター
出席者	参加者：22名 町：町長、佐藤総務課長、佐藤政策財務課長、鈴木議会事務局長、横山都市土木班長、遠藤政策企画班長、佐藤庁舎整備班長、高畑土木建築係長、鈴木庁舎整備係長、山田菜美

<会議内容>

報告・協議

- ・町長あいさつ
- ・総務課より会津坂下町防災マップについて説明後、懇談
- ・建設課より会津坂下町空家等対策計画について説明後、懇談
- ・説明・・・新庁舎建設計画について
- ・懇談

（町民）

地元の方が話す前に意見を言うのは気が引けますが、地元仲町のものです。

これまでの懇談会ででた意見等をまとめているが、5月17日、23日の意見は具体的な内容の意見をまとめているが、出た意見をそのまま載せたのだとは思いますが、それ以降の意見は「賛成です」「求めているものが全てカバーされている」等抽象的な意見が記載されている。厚生病院跡地にいかせたいという恣意的なまとめに見える。参考意見にならないだろう。

重要度1，2，3位とあり、ゆとりある駐車場スペースという内容がある中で、現庁舎周辺敷地だと60台、厚生病院跡地だと120台停められるとなっているが、今現在は役場の職員は旧営林署跡地や南小学校前の駐車場に車を停めて歩いてきている。それらも含めて資料に載せるべきでないか。そうでないと厚生病院跡地の方が優れていると見えてしまう。だって、厚生病院の120台という中には職員の駐車場が入ってしまうのだから。そう考えると現庁舎周辺敷地がゆとりある駐車場スペースとして第一位と言えるだろう。

また、防災のことだが、どちらの敷地も災害は受ける。現庁舎周辺だって南幹線は近い、大地震等になったら拠点は小学校や東公園等に拠点を張るだろう。本当のやばい防災になったら敷地が広いとか狭いとかの問題でないだろう。また、水没するとなると現庁舎周辺敷地は3m程度水

が上がると防災マップ上になっている。私たちはそこに住んでいる。それがわかっているのであれば防波堤なり土手なりの整備をするのが先でないか。役場だけ移動してもそこにいる人はどうするんだ。

この資料に書かれていることは今現在の事である。役場建設は60年に一度のことなのだから60年後どうなるかを想像して検討すべきだ。それで今現在の比較をしてどうなるのか。

(事務局)

懇談会の意見の載せ方についてだが、言っていた意見をそのまま載せさせていただいている。町としては、坂下地区の際にでた具体的な改善案であったり、単純に賛成だという意見だっただけそれは意見の一つであると考えて載せている。例えば求めているものがカバーされているという意見に対して、どういったところがカバーされていますかと聞き返すことがあればよかったのかもしれない。

駐車場についてだが、厚生病院の120台という中には職員用駐車場は含んでいない。職員駐車場については別に確保したいと考えている。

(町民)

そのためには用地の買収が必要だろう。それらもひっくるめたものを示すべきだろう。

もっと大きなまちづくりを考えていかないといけない。行き当たりばったりで進めてはいけない。急がずにトータル的な議論をして進めていく必要があるだろう。

(町長)

川の災害についてだが、坂下はバックウォーターでの災害が多いため、川の掘削等の工事を継続して実施している。これからも減災という面で実施はしていくので、少しずつ改善を図っていききたい。

(町民)

であれば、庁舎の位置の話の上で、現庁舎では3m水があがる、厚生病院は1mあがるという話しもあるが、比較する上での条件は同じということによろしいか。優位性はないということになりますね。

(町民)

それはおかしい。より上がらないところを選ぶのは当たり前だろう。比較してより良いところを選ぶのがおかしいことなのか。

(町民)

比較することは勿論必要だ。しかしその比較する内容が稚拙だと言っている。もっと未来のことを想定して比較すべき。

(町民)

私はそんな風には思わない。個人の考えだろう。より安全な場所を想定するのは当然の話だ。水害のことを考えなくていいという意見はおかしいだろう。あなたが家を建てる時に水害が 2m 50 cmの場所と 1mの場所だったらどちらを選ぶのか。1mのところを選ぶだろう。

(町民)

勿論 1mのところを選ぶ。これだけいろいろな事に意見がでるのだからもっと時間かけて考えましようと言っている。

(町民)

時間をかけて考えてきたと私は見ている。

(町民)

考えていない。仲町はそう見ていない。

(町民)

そう思う根拠はなにか。

(町民)

してないじゃないですか。

(町民)

何がしていないのか根拠を話せと言っているんだ。

(町民)

町民として意見を言っている。

(町民)

私は庁舎がどこになるのかは別にして、今のうなぎの寝床のような場所ではない場所へ移すべきと考える。老朽化も激しくなっているから早く進めるべき。議論を重ねてない重ねてないとかかり言うが、今まで何人町長が変わってこの話をしているのか。いつも立ち消えになっている。本当に大災害が来た時にどうするのか。早く今の場所でないところで進めるべきだと思う。現庁舎周辺等は空洞化になっている。賑わいのまちづくりをどうしていくのかわからないが、あそこを中心とした賑わいのまちづくりも進めるべき。現庁舎周辺敷地から移転することには大賛成だ。むしろ以前あそこに決まったこと自体がおかしいと思っていた。私はその方が商店街のためになるだろうと思っている。町中の人たちもそれを利用して賑わいの創生ができるようにしっかり考えてもらいたいくらいだ。

(町民)

駐車場スペースの話がでている。会津坂下町は車社会だからゆとりある駐車場スペースは必要だ。また高齢化のことも考えていくと公共交通機関の乗り入れも必要だろう。そういったことも踏まえて位置を決めてもらいたい。私も厚生病院跡地に賛成です。

(町民)

跡地利用の件だが、8億円をかけてとあるがどのようにして8億円と決まったのか。8億円に見合った事業をするのか、それとも何かやることの想定があって8億円なのか。

(事務局)

具体的な内容はまだない。仮に8億円の事業を実施した際にどうなるかというシミュレーションを実施している。賑わいの空間創出という中で結果的には6億円になるかもしれないし、10億円になるかもしれない。そういった中で今後10年間のシミュレーションをしている。

(町民)

過疎債を活用しての事業ということだが、事業内容によっては過疎債に該当しないとか、一部該当しないという場合もでてくるのか。事業内容が過疎債に該当するよという事で縛られたりしないのか。

(事務局)

過疎債の考え方は、過疎地域を脱却するために国が財政措置をするという内容であり、町の過疎計画に位置付けることで過疎債の対象となることができる。そのため、一個一個の事業を捉えてのことではない。ただ、備品を買ったりということは該当しないこともあるが、ハード整備は基本的に可能である。

(町民)

よく賑わいの空間という言葉聞くが、何か公園みたいなもの作って終わりということにはならないかというイメージがあった。

(事務局)

単純な公園スペースみたいなものだけでなく、ハード整備として考えている。内容についてはこれから皆さんと検討していきたい。

(町民)

財政シミュレーションは10年間ででていますが、その後の15年や20年というシミュレーションは可能なのか。また、6月から中心市街地活性化事業の協議を始めていくと思うが、今現在概要というか、想定しているものがあれば聞きたい。

(事務局)

財政シミュレーションのことだが、10年間くらいまではその年に何をするかという見通しも建てられるが、15年20年となると正確性といった面で難しい。

(事務局)

中心市街地活性化の件だが、庁舎の位置に限らずこの事業を実施し、皆様の生活を守るためにも実施することは変わらない。6月から福島大学の川崎教授をお呼びして力を貸していただくこととなっており、今の現状を見てもらい、またこれからの会津坂下町がどのように発展していくか検討することとしている。その際にも地元商店街の方々のご意見も聞かせてもらい、どのように中心市街地を盛り上げていくかとみんなで考えていきたいので、ご協力をお願いします。

(町民)

川西地区の住民からすると、利便性・アクセスの便利さという面で厚生病院跡地が賛成である。しかし、庁舎の建設はそれだけではないだろうと思う。災害対策についてもだが、先ほど意見があったようにまちづくりを具体的にどのように進めていくかに係ることだと思う。まちづくりの方針の中に、会津西部地域の生活・医療等の中心となるような言葉があるが、さらりと切り切れるほどのことなのだろうか。会津坂下町の会津西部における役割やそこから生じるまちづくりが必要だと思う。この文章だけ読むと、まちの中心がこちらに移るように読めてしまう。

一方で大地震が起きたら、今の庁舎が潰れてしまうかもしれない。そういった意味でのタイムリミットもある。そういった懸念もあるが、まちづくりについては検討が必要だろう。

(町長)

今南幹線沿いの発展がある。厚生病院は会津西部の重要な医療拠点でもあり、メガステージについても坂下以西の方々も多いなとみている。そういった中で、坂下町の中心をそちらに移すということではなく、会津西部の方々もそういった利用しやすいところは利用している現実があるため、坂下の果たす役割がある。厚生病院の右側の空スペースの話が前にもあった。JA会津よつばの町内支店の統合という話がでており、今の坂下総合支店では狭いので移転したいという話しも聞いた。そうであれば、厚生病院跡地の東側に入ってはいかがかというアプローチもしていきたい。

(町民)

庁舎建設の予定地には、防災ヘリの着陸ができるようなことも重要だと思う。いかがか。

(町民)

先ほど水害の話もあり、水害の急ぎの場合は垂直避難が重要。そのためには、屋上にヘリが着陸できるようなことも考えていかないといけない。

(町民)

今の現庁舎の場所にへりを落とすことはできるのだろうか。

(町長)

まだそこまでの検討はしていない。

(町民)

坂下町のまちづくりにおいて、中心市街地の方々の協力は不可欠だとも思う。今般の庁舎移転における軋轢があることで心が痛む。どうしたら融和のもと相互理解が図れるか悩ましい。中心市街地の活性化は第4次の頃から話をしているが、ずっと功を奏していない。異次元の中心市街地活性化というものも必要かと思う。そんな中で同じテーブルで話し合うことが必要。

(町民)

資料も改善されているし、役場の方が頑張っと思いが伝わるようにしてくれているようにしてやることも感じている。しかし、不信が消えたわけではないが、各々が努力していることはわかってほしいと思う。前回参加した際にも思ったが、この新庁舎に関するところが、すごく「負のイメージ」に感じてしまっている。町自体がマイナスのイメージを持っているように感じる。私自信、自分が反対したから厚生病院に行ってしまったんだろう、なんて言われたこともある。お店も4月で終わっているんだろうなどとも言われ、すごく悔しい。だから早く決まってほしい思いもある。仲町橋本が悪いように思われていることも悔しい。道路の周りに花が植わっているのだから、商売やっている方が朝早くからやっていることだし、花火大会の次の日にゴミ拾い等していることとか、商売やっている人は地域のために力を尽くしている部分は多い、もちろん農家の方々も他の組織の方々だって色々がんばっているとは思う。なのに、商店街ががんばっていないから地域おこしが必要だというようなことは軽々と言えないと思う。がんばっていることをわかっていないから。

ここまで負になってしまったのは感情だと思う。もっとハッピーに進めないと絶対に上手くいかない。自分はここ数年振り回されていて、もっとグチャグチャしたらもっと面倒なことになると思うし、お店の将来のことだって考えたいのに、前に進めない。とにかく良い方向に行くために町長が明るい未来を見せていくような方向へチェンジしてほしい。

また、以前にも話したが、この懇談会に若い人がいない。未来に必要なのはその人たちの意見。そのために周知の仕方の改善が必要。たとえば幼稚園のお母さん方対象に懇談会してみようとか、やり方は考えてもらいたいが、是非実施してほしい。

(町長)

前段の話ですが、今町を二分にしても強行でやろうという気はありません。反対する方というのはゼロにはできないかもしれないが、今反対している方々も少しでも少なくなるよう力を尽くして融和な中で進めていこうと思っている。これからはまちづくりを前面に出して、進めていこうという話しを庁内でしている。庁舎の位置の答えもそのまちづくりの検討を進めていく中で自

ずとでてくるものだろと思っている。そのように、これからも検討を重ねて進んでいきたい。

若い人という意見は全く持って同感です。やはり若い人の考え方を取り入れた政策をしたいと思っている。中々これといった改善策がパッと出てきてはいないが、努力していきたい。

(町民)

重要度1, 2, 3位がでていますが、延期の理由は財政面が理由だったのだから、そこが一番大事な気もする。というか1, 2, 3位という順位はいらぬのではないかという気もする。

次第には第一回地域づくり懇談会とあるが、今年度何回やっていつやるのか。

(事務局)

こういった全体的なテーマの懇談会は年2回を予定しているが、庁舎のことですとか重要案件については今後も個別テーマで場を設けたい。